

コミュニティ・スクールが始動 みんなでつくる 地域の学校



学校・地域・家庭が連携し学校づくりを行う
「コミュニティ・スクール」が、令和6年度から菊川市で
始まりました。ここでは、その仕組みや組織について紹介します。

問 学校教育課学校政策係(中央公民館内 ☎73-1113)



▲市内での地域と学校の協働の例：
横地小3年生が市身体障害者福祉会
ろうあ部の会員から手話を学ぶ様子

学校と地域の協働が広がる
ことにより、児童生徒の学習
や体験活動、登下校や災害発
生時の安全体制などがより一
層充実されることが期待され
ます。

少子高齢化や地域のつなが
りの希薄化を背景に子どもや
学校が抱える課題が複雑化・
困難化している現代。コミュニ
ティ・スクールでは、学校・地域・
家庭が一体となり「社会総が
かり」で子どもたちの課題に
対応していきます。

「コミュニティ・
スクールとは
? ? ? ? ?」

県内の自治体で導入されて
いるコミュニティ・スクールとは、
学校の代表者と地域住民代
表者が一緒に学校運営などに
ついて話し合う「学校運営協
議会」を設置した学校のこと
です。

コミュニティ・スクールの構成と仕組み

学 校

学校運営協議会で、育てたい子ども像を共有し、
その達成に向けた手立てを考え、行動します



学校運営協議会が
連絡・調整を行います

学校運営協議会の役割・できること

- ・校長が作成する学校運営の基本方針の承認
- ・学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる
- ・教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

手立て

協力

地 域

学校運営協議会から伝えられた手立てに合わせ、
地域住民や保護者などさまざまな人が、学校と
協力し、具体的な活動を展開していきます



企業
NPO

保護者

地域
住民

文化
スポーツ
団体

社会教育
施設・団体

子どもの学びと育ちを
支える活動を行います

など
地域に関わる全ての人が協力者に